

地域貢献・連携プロジェクト事業終了後報告

旭川校・芳賀 均
渡壁 誠

1. プロジェクト名および概要等

プロジェクトの概要	<p>○「中頓別町大学生フレンドシップ事業」</p> <p>本事業は、現場の学校や教育委員会の要望による内容、学生が企画する出前授業を、中頓別町内の小・中学校において行ったものである。派遣要請のあった小・中学校へ本校学生が出向き、教育活動に携わるとともに、準備した「学生プログラム」により授業を実践した。平成20年より相互協力協定を締結している「中頓別町」で、本学の教育的資源を地域に還元することにより、地域教育における連携・貢献を推進することを目的とし、本事業を実施した。音楽1グループ・技術1グループの2分野2グループが参加し、2校（中頓別小学校・中頓別中学校）および放課後の児童クラブで実践を行った。</p>
プロジェクト実施者（含学生）の役割分担	<p>芸術・保健体育教育専攻 音楽分野 芳賀 均 生活・技術教育専攻 技術分野 渡壁 誠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の計画推進（芳賀） ・学生の指導・引率（芳賀・渡壁） ・グループごとに計画された出前授業を行う（参加学生）
地域・学校に果たす役割と期待される成果	<p>旭川校と中頓別町との相互協力協定に貢献するとともに、本実習の教育実習生の受け入れがないへき地・小規模校では、児童・生徒や先生方にとっても、学校に若い先生（学生）が来てくれることが刺激となる。また、日頃触れることのない先進的な実践を体験することができる。へき地校体験実習の受け入れと関連付けることができる</p>
学生資質向上・教職資質向上に果たす役割と期待される成果	<p>初対面の学習者に対して授業を計画し、その授業の中で指導を修正していくことから、指導力の向上が期待できる。参加した学生からは「へき地と関わる機会のない学生も多いと思いますが、実際にへき地で宿泊をして、授業をするというこの事業では、へき地の様子を肌身で感じることができますし、教育現場の様子についても知見を深めることができました」という感想があった。教員養成としての効果が大きい実践である。</p>
キャンパス及び大学への貢献	<p>本事業により旭川校では、中頓別町に対して相互協力協定の責務を果たすこととなる。さらに、本学の地域への貢献を示す機会になっている。また、実習校不足に悩むへき地校体験実習の受け入れ先となっていることから、その継続の機会が得られることにつながる。</p>

エビデンスとしての効果の検証方法と予想される結果	本事業の原動力は、学生の来校を中頓別町の児童・生徒が切望していることである。教育活動に意欲的な学生の姿は、現場の先生方にも刺激を与え、また教育界の後進者として期待されるとともに、様々な励ましをいただいている。これらは、参加学生の教育に向けた情熱に大きく影響している。
--------------------------	---

2. 実践の記録

- ・学長戦略経費（地域貢献推進費「中頓別町フレンドシップ」）および各教員研究費によって実施した

<p>令和6年9月4日（水）： 北海道教育大学旭川校 1200—（自家用車移動）→1530 中頓別小学校「挨拶・現地確認」 →1800 男子宿舎に全員集合して夕食および打合わせ→2000 男子は男子宿舎で宿泊・女子は女子宿舎に徒歩移動宿泊</p> <p>令和6年9月5日（木）： 0900 中頓別小学校に移動。活動は以下の通り。 午前：中頓別小学校 2時間目（0930-）準備、3・4校時実践、<u>昼食は給食（有料）</u> 音楽＝1・2年生（鑑賞）・各1コマ 技術＝プログラミングを5・6年生複式学級・各2コマ 午後：技術は5時間目は小学校で通常授業（学年・内容未定）の補助等の交流 →放課後子どもプラン＝15時から、放課後教室でプログラミング 音楽は、中頓別中学校で1・2年生合同の鑑賞教室（5校時＝13:25～14:15）1、2年生全員（1年生12人、2年生16人、計28人）体育館にて実施。 →1830 男子宿舎に全員集合して夕食および打合わせ・アンケート記入→2030 男子は男子宿舎で宿泊・女子は女子宿舎に徒歩移動宿泊</p> <p>令和6年9月6日（金）： 中頓別町 0900→1230 北海道教育大学旭川校</p>

3. 決算

項目	金額
旅費（芳賀）中頓別町 2024/09/04-2024/09/06	7,500
旅費（渡壁）中頓別町 2024/09/04-2024/09/06	7,500
宿泊費・食費（八下田愛都・唐太亮人・武澤颯人・大熊俊介・毛利桃香・山崎さら盛田祥史・齊藤ころこ・山田実季・吉田稟）中頓別町 2024/09/04-2024/09/06	6,500*10 =65,000
合計	80,000

4. 実践に関する資料

- 参加学生の感想の抜粋（抜粋）

貴重な機会をいただきありがとうございました。とても充実した3日間になりました。今回の出前授業で、私が特に印象に残っていることは、たくさんの人との関わりの中で

様々な刺激を受けられたことです。特に、技術分野の学生とは関わる機会が全くなかったので、新鮮な気持ちでした。宿泊場所が同じだった女子学生とは、今回の中頓別小学校の話はもちろんのこと、自分たちが経験してきた実習の話や教採の話なども語り合うことができました。出身地や、主免許の校種や教科が違う学生の話聞くことで、自分の視野や考え方も広がりました。

また、音楽教育専攻の3人と一緒に授業内容を考えていく中で、自分には無いアイデアをたくさん吸収することができました。授業準備だけではなく、当日の授業実践でも視野を広く持って子どもたちと関わっている姿を見て、自分の無力さを感じると同時に、この経験を通して将来に向けてもっと学びを深めたいと感じました。

2日目は、先生方や学生たちと楽しくお話することができて、今回参加して本当に良かったと思います。私は、音楽科の1年生2人から学んだことも本当にたくさんあったので、1年生と4年生でこの活動を行うスタイルはすごく素敵だと思います

今回印象に残っていることは小学校の授業です。前回、行ったことを今回自分1人で行うのはとても心配でしたが、子どもたちの発言が活発で、とても助けられました。後ほど1年生のクラスから頂いた感想の紙に「次はトランペットを吹いてみたいです」と書かれています。今回私が取り組んだ意味が実感できて嬉しかったです。

今回は技術分野との合同で、普段の学校生活では関わることのない分野の方々だったので不安でしたが、とても面白く優しい方々で、3日間で交流を深めることができてとても良かったです。先生方の貴重な会話を横から聞き耳立てることができてとても勉強になりました。今まで関わりがあまりなかった先輩とも、今回このように活動できたことは私にとってとても貴重な経験となりました。4年生の姿からたくさん学び、たくさんの刺激を受けました。ありがとうございました。

今回のフレンドシップ事業では、へき地校での出前授業を行いました。へき地と関わる機会のない学生も多いと思いますが、実際にへき地で宿泊をして、授業をするというこの事業では、へき地の様子を肌身で感じることができ、教育現場の様子についても知見を深めることができました。事業で行った授業の中には最先端で、挑戦的なものもありましたが、皆で準備した授業で、子どもたちの楽しそうな笑顔を見ることができたので、とても有意義な時間となりました。大学では座学を中心とした授業が多いのですが、教育というもの座って学ぶだけではなく、実践を繰り返し、子どもたちと触れ合うことで教育の力が付くものだと思いますので、このような機会は教員を目指す教育大学生として、とても貴重であり、学びになると思います。

今後もこのような事業等で、沢山の学生がへき地と関わり、地域を活性化させていくことに加え、自らの学びを深める機会が増えていけば良いと思いました。

今回、フレンドシップに参加して、今後に繋がるとてもいい経験をする事ができました。

特に、小学校で2コマ分の授業を行ったことが印象に残っています。大学に入学してまだ約半年しかたっていない私が、子供たちに「楽しい！」「知らなかったことを知れた！」と思って貰えるような授業をできるのかとても不安でしたが、先生や4年生の2人にたくさん助けられ、とても楽しい、子供たちに色々な刺激を与えられる授業にできたと思っています。本当にありがとうございました。

今回の授業で、サウンドエデュケーションに取り組んだことで、より私が目指す授業スタイルに欠かせないのだと実感し、もっと色々な学校でたくさんの子供たちとサウンドエデュケーションを取り入れた授業を行いたいと思いました。また、今回は普段関わりが少ない技術の4年生の方たちと交流ができ、教育実習を経験した人達の話聞くことができ、教育実習への心構えなどを学ぶことができました。
